

1 日常の学習状況・課題について

(1) 学習状況について

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ソーシャルディスタンスを図りながら、準備運動やランニングなど安全面に留意しながら行っている。
- ・授業開始のチャイム前に集合して時間どおりに授業開始という意識が芽生えてきた。
- ・自己や仲間の課題解決に向けて、映像や資料を活用し仲間の動きを視覚的に捉えて気付きを伝えようとする生徒が増えてきた。
- ・体育委員と体育係を中心に周りが協力して主体的に活動できる場面が見られるようになってきた。

(2) 学習の課題について

① 学習面

- ・話を聞く力、自分の考えを述べる力（伝える力）の不足
- ・学習カードの記入、内容、提出状況の格差
- ・基礎的、基本的な技能の定着の格差や、積極性の格差
- ・時間厳守に対する意識の格差

② 指導面

- ・説明は分かりやすく端的に行う。
- ・毎時間ペアやグループでの学習を取り入れて、学び合いの場を増やす。
- ・ソーシャルディスタンスの徹底および授業終了後の手洗い・うがいを励行する。

2 改善の計画

- (1) 危険や事故（けが）について考えさせ、安全な運動を確認し進める。
- (2) 単元の1時間目にオリエンテーションを行い、単元の流れなど見通しをもたせるとともに、各単元の基本的な知識を身に付けさせる。
- (3) 学習カードを活用し、自己・グループの課題を見付け、解決する授業を展開する。
- (4) ホワイトボードを使い、本時の流れ・めあて等を視覚的に確認・意識させる。
- (5) 毎時、基礎的な技能を反復して行い、技能の定着・向上を図る。
- (6) グループ活動を通して、互いの活動や動きを見て、他者の運動の特性や課題の解決のために必要な活動を考えさせ、取り組ませる。
- (7) 効果的な場面で4人組等のグループ形式の学び合う学習を取り入れていく。
- (8) 丁寧で端的な説明や視覚的理解を促進する示範を増やす。
- (9) 準備や片付けは具体的な指示を出し、率先して動く体制をつくる。
- (10) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、環境整備、生徒の意識を高めさせる。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。